

災害復旧工事の流れ

<工事着手から完成まで、写真で見る工程>

工事は通常、設計に基づいて現地測量などを行い、作業を行うための仮設工事を実施した後、完成に向けて各種工程を進めてまいります。

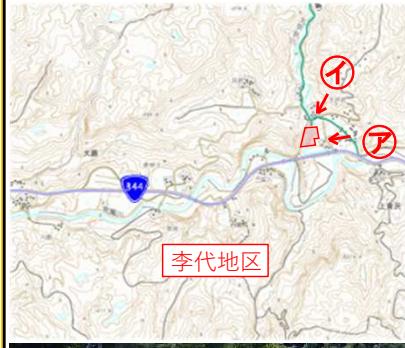
作業内容の複雑さや作業量により工期に差はありますが、いずれの現場においても早期完成を目指し、安全・安心を最優先に工事を進めてまいります。

引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

災害復旧工事の発注状況（庄内管内：山形県分）令和7年11月末時点

項目	金額	箇所数	うち契約済		うち完成済	
			箇所数	契約率	箇所数	完成率
道路関係	約20億円	51	48	94.1%	19	37.3%
河川砂防関係	約51億円	121	74	61.2%	4	3.3%
農林関係	約9億円	7	6	85.7%	1	14.3%

作業状況（農地・農業用施設災害復旧事業（受託県営））



李代地区（高平建設株）

- ・地権者・耕作者と立会い
- ・測量や水路の閉塞調査
- ・農地及び用排水路に流入した土砂や流木等の撤去
- ・流失した畦畔の復旧



農地・水路被災時



復旧工事前の測量やパイプラインの閉塞調査



土砂撤去



復旧完了



工事着手から完成までの流れ（河川工事の一例）

①着工前



壊れた護岸を復旧します

⑦完成



護岸を復旧しました

②仮締切



作業時に川の水が入らないように囲います

⑥天端コンクリート打設



護岸上部からの水を防ぎます

③掘削



復旧する護岸の足元まで掘ります

⑤コンクリートブロック張



護岸のブロックを張ります

④基礎コンクリートブロック設置



護岸の足元部分を設置します

施工箇所例：

大山川（鶴岡市東目地内）

施工者：(株)三浦土建

位置図

